

防災問題研究会 第1回企業の防災取組み事例勉強会

三菱重工業 災害対策の紹介と工場見学

本年度より新しく防災委員会が立ち上がり、副会長の三菱重工業(株)横浜製作所土田執行役員所長に委員長に就任戴き、傘下にある防災問題研究会の代表幹事にも就任いただいているが、土田代表幹事の「真に会員の役立つ研究会活動にしたい」という思いから、防災研究会の会員同士が防災対応事例と工場を紹介しあう活動を開始した。

第一回目として、8月20日に代表幹事事業所である三菱重工業本牧工場に受け入れていただき、失敗事例の紹介、緊急事態発生時の取組状況の紹介、災害対策本部の部屋の紹介、および工場見学を実施した。また、終了後に困ったときに助け合える研究会員同士のネットワークづくりを目指した懇親会を開催した。

失敗事例の紹介

本牧工場では、自然災害、火災などと一緒に環境汚染を「緊急事態」と定義しているが、平成17年に発生した廃水処理場からの未処理液の流出事故について、流出した経緯や原因と対策について詳しい紹介があり、現場を見学した。

緊急事態発生時の取組状況の紹介

本牧工場の緊急事態発生時の災害対策本部の立ち上げ基準や災害対策本部の組織編成と各部隊のそれぞれの役割、報告体制、訓練の実施状況などについて紹介いただいた。各部隊の役割には「誰が何をどうする」が書かれており、報告体制には「災害別に何を報告する」が具体的に書かれており大変参考になる。また、たくさんの質問があり、丁寧にお答えいただいた。

災害対策本部の部屋

緊急時には、普段は会議室として使っている部屋に災害対策本部が設置される。予め誰がどこに座るかなどのレイアウトと備品類の配置が決められている。参考になったのは、現場や外部からランダムに入ってくる情報をホワイトボードに書き込むが、それを整理してパソコンにインプットし、そこからイントラネットで社内へ発信できるような仕組みになっていること。その隣にマスコミなど外部へ発信する情報をまとめるためのパソコンが設置されていること、官公庁などへの報告は、電話番号の横



三菱重工業(株)横浜製作所 本牧工場



玄関前で記念撮影

に報告時間と報告した相手の名前を3次報告まで記入できるようになっていることなど。

工場見学

1号ドック、拡張工事中の羽田D滑走路棧橋部分の製作、風力発電機ナセル部（羽根の付け根の変速機や発電機の入った頭の部分）の組み立て工程を見学し、参加した皆さんはスケールの大きさに驚かれていました。

このあとワークワーク作りのための懇親会を実施しました。防災問題研究会では年度内にもう一度企業の取組み事例勉強会を実施する予定です。いつでも入会できますので、希望される方は事務局までご連絡下さい。